

新ごみ処理施設基本計画（案）【概要版】

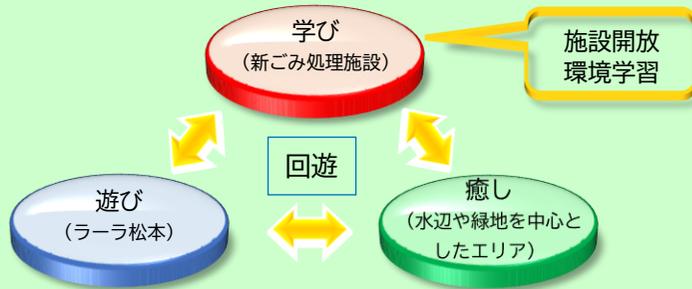
新ごみ処理施設建設に向けて、施設の整備方針や処理能力をまとめました。

～老朽化による処理能力の低下や維持管理費の増加など・・・→新しいごみ処理施設を整備します。～

1 整備のコンセプト

「平瀬環境エリアの創出」

誰もが自由に見学ができる「開かれた施設」をつくります。



2 安心・安全な施設

(1) 施設規模

1日に燃やせるごみ量 ⇒ 360t (120t/日×3炉)

1日に破碎できるごみ量 ⇒ 13t

1日にプラスチックを圧縮できる量 ⇒ 13t

(2) 災害対策

地震 ⇒ 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準に沿って計画

浸水 ⇒ 浸水予想区域に対応した、ごみ等の流出対策

災害発生直後 ⇒ 速やかに稼働ができるように対策



3 環境に配慮した施設

(1) 排ガスに関する公害防止基準

● 現施設と同程度の公害防止基準で管理

(2) 温室効果ガスの排出抑制

● 機器類のエネルギー消費削減

● ごみの焼却熱を利用した発電

(3) 灰の減量策

● 「ごみの減量」「製品プラスチックの資源化」「民間委託による処分」「金属類の回収」の4つを中心に(引続き)検討



4 地域に価値を創出する施設

(1) 地域振興

● 豊かな自然を感じてもらえる場所

● 人の交流や賑わいの創出

● 地域等への熱や電力の活用を検討

(2) 環境学習施設の整備方針

● ごみ処理やリサイクル、最新技術を学べる (新ごみ処理施設)

● 遊びとともに熱や電力の活用を体験 (ラーラ松本)

● 癒しとともに周辺の自然について学べる (水辺や緑地)

